

平成27年度 下半期指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市健康ふれあい農園	所管課	農林園芸課
所在地	岐阜市安食字竹田799番地1		
指定管理者名	ぎふ農業協同組合		
指定期間	平成25年4月1日～平成29年3月31日		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	8,756,228円		
施設の設置目的	農作業体験を通して、自らの健康増進、家族とのふれあい及び農業に関する理解を深める。		
施設概要	貸付農地、利用農地、附帯施設(管理事務所、農機具倉庫、物置、便所、堆肥置場、洗い場、園路、休養施設、駐車場、農機具類及び農具類)		

●利用状況

		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
貸付農地利用区画数		195	193	215	213	226
利用状況	一般用区画A(30㎡) 利用率	87.0%	84.7%	90.1%	89.3%	94.7%
	一般用区画B(40㎡) 利用率	54.7%	56.3%	70.3%	70.3%	78.1%
	一般用区画C(50㎡) 利用率	54.1%	54.1%	60.7%	59.0%	60.7%
	身体障害者用区画E(2㎡) 利用率	86.7%	87%	100%	100%	100%
	収穫体験利用組数(組)	1,289	475	1,160	362	1,152
	収穫体験利用人数(人)	3,719	1,345	3,541	1,116	3,754

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応(雑草、有害鳥獣等) ⑤栽培指導 ⑥耕耘機の無料貸出し	①業務日誌より、午前8時出勤、午後5時退社の確認 ②申請受付1名、農園管理3名(交代制)配置 ③JAのHPに掲載 ※掲載ページへのリンクをトップ画面下の場所に分かりやすく設定 ④・随時除草作業実施 ・農園の山沿いにイノシシの防除柵を設置(240m) ・小型獣用の箱ワナ4台を設置 ・とうもろこしに防獣ネット設置 ⑤月1～2回の巡回指導、年2回の栽培講習会実施 ⑥下半期(10月～3月): 86件
自主事業・提案事業	①貸付区画利用者からの依頼による有料耕起作業	①1,200円/10㎡、1,400円/20㎡、1,600円/30㎡ 下半期(10月～3月): 6件の依頼を受け実施
施設管理	①日常・定期清掃業務 ②警備業務 ③受水槽、浄化槽点検 ④利用農地栽培管理 ⑤作物残渣処理 ⑥貸付農地の適正管理指導 ⑦除草作業	①日常清掃(トイレ、管理事務所、倉庫/毎日)実施 ②定期巡回(午前9時頃)実施 ③委託業者による点検(年1回) ④作物11種の栽培管理、気象変動に対応した作業変更の実施 ⑤水分排除後、利用農地輪作予定区画にすき込み、土づくりに活用(チップパーにより残渣を粉砕) ⑥未利用貸付区画の緑肥栽培実施、巡回時に随時管理指導実施 ⑦側溝のり面、駐車場等、随時除草作業確認
施設修繕	・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	・農業器具等の修繕を自己の営農組織に依頼することで、経費を縮減した。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報保護方針を作成し、適正に取り扱っている。 ②緊急時の対応マニュアルを整備し、台風被害対策を行うなど、適切な危機管理対策を実施した。 ③関係法令を遵守している。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・貸付区画利用者138人を対象に、H28.2に実施。 ・アンケート質問項目:「貸付区画申込みのきっかけ」、「栽培の経験年数」、「農園の利用頻度」、「管理人の栽培指導等の対応(回数・内容)」、「現在利用中の区画と面積について」、「空いているC区画の分割利用について」、「駐車場の配置」、「充実してほしい支援内容」、「堆肥の無料配布について」、「耕耘機の無料レンタルについて」、「辞退理由」、「ご意見、感想」</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>回答数 79人(回答率 57%) ・質問1「貸付区画申込みのきっかけ」: 広報誌ふ 35人(46%)、岐阜市咲楽(広報誌) 3人(4%)、JAぎふ広報誌 3人(4%)、チラシ 2人(3%)、岐阜市のホームページ 11人(14%)、JAぎふのホームページ 1人(1%)、家族・友人・知人からの紹介 11人(14%)、その他 10人(13%) (その他:農政課で依頼された、通りかかって見つけた、主人が先に利用していたから、現地を見て) ・質問2「栽培の経験年数」: 1年未満 1人、1年 3人、2年 2人、3年 6人、4年 2人、5年 8人、6年 7人、7年 2人、8年 4人、9年 3人、10~19年 37人、20年以上 4人 計79人 ・質問3「農園の利用頻度」: ほぼ毎日 2人(2%)、1週間に数回 23人(29%)、1週間に1回頻度 33人(41%)、1ヶ月に数回 19人(24%)、その他 3人(4%) (その他:寒いと行かない。春・夏は週3位、冬は1回夏毎日、時期により日数はまちまち) ・質問4「管理人の対応について(栽培指導・相談等)」 ①回数について:もっと指導して欲しい 9人(13%)、ちょうどよい 59人(82%)、指導して欲しくない 3人(4%)、大変不満である 1人(1%) ②内容について:大変満足している 7人(11%)、満足している 56人(87%)、不満がある 1人(2%)、大変不満がある 0人(0%) その他 0人(0%) 質問5「現在利用中の区画と面積」: ①現在利用中の区画 30㎡ 53人(65%)、40㎡ 15人(19%)、50㎡ 11人(14%)、2㎡ 2人(2%) ②現在利用中の区画面積について ちょうどよい 49人(67%)、やや広い 12人(16%)、やや狭い 10人(14%)、その他 2人(3%) 質問6「空いているC区画の分割利用について」: 利用してみたい 4人(5%)、考えていない 61人(82%)、仕方によっては利用してみたい 7人(10%)、その他 2人(3%) 質問7「現在の駐車場の配置」: 大変満足している 1人(1%)、満足している 61人(77%)、不満がある 10人(13%)、大変不満がある 5人(6%)、その他2人(3%) ・質問8「充実してほしい支援内容」: 簡易物置の設置 8人(10%)、土質の改善 38人(46%)、肥料苗販売 28人(34%)、その他8人(10%) ・質問9「堆肥の無料配布」: 大変満足している 26人(35%)、満足している 38人(51%)、不満がある 6人(8%)、大変不満がある 4人(6%)、その他 0人(0%) ・質問10「耕耘機の無料レンタル」: 大変満足している 20人(29%)、満足している 44人(65%)、不満がある 4人(6%)、大変不満がある 0人(0%)、その他 0人(0%) ・質問11「辞退理由(辞退予定者のみ)」: 時間に余裕がない 2人(25%)、体調が悪い 1人(12%)、使用料が高い 2人(25%)、土質が悪い 2人(25%)、立地条件が悪い 0人(0%)、他の市民農園を借りる 0人(0%)、その他 1人(13%) 「意見・感想」(下の要望・苦情と対処・改善欄に記載)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>アンケートの意見・結果については指定管理者に伝え、指定管理者で改善できるものはお願いしている。 ・側溝の流れが悪さやトイレ、ごみ箱の汚さを改善して欲しい ⇒貸付区画の側溝については、個人での清掃をお願いしているが、今後管理者を通してより注意を強める。施設設備については、定期的な清掃を徹底する。 ・空き区画が目立つ。使用料の高さを見直して欲しい ⇒平成24年度に1度使用料を下げている。消費税による使用料の変更は生じる可能性があるが今後下げることは考えていない。空き区画の利用率向上に向け、管理人が駐在する農園の付加価値を広報等を通じてさらにPRするようにする。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	利用申込みが区画数を超えた場合の公平な利用者決定方法を講じるか。	A	A	A
		情報公開、広報の方策	利用者募集PRを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無、内容	気象状況に応じた栽培方法を選択しているか。	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	利用者からの意見を聴取しているか。	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	利用者からの意見について、検討・対応策を講じているか。	B	B	B
		利用促進、利用者増の方策	栽培指導を実施しているか。	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	質確保のために体制を整備しているか。	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	専門の栽培指導員を配置しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
		区分評価			A	

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(サービスとコストのバランスなど)	利用者へのサービス低下を招くことなく、コスト縮減に努めているか。	A	A	A
		収支計画の妥当性	計画に基づき、遂行されているか。	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか。	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(無理はないか)	職員の担当、勤務時間を工夫し、より効率よく業務が出来るよう配置しているか。	A	A	A
		利用料金を徴収する施設の場合、収入の増加を図るための方策	利用者増につながるイベントを実施しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	経営基盤の安定性	経営は安定しているか。	A	A	A
		組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	作物栽培経験、農業機械操作技術を有する職員を配置しているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	スタッフ間の連携がとれた体制が整備されているか。	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	人材育成の方策は策定されているか。	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	自然災害、防犯、事故等の緊急時における危機管理のための方策が確立されているか。	A	A	A
		リスクへの対応能力(資金力、損害賠償能力など)	資金力は十分備わっているか。	A	A	A
	その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-	
区分評価					A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)	地元法人、団体の育成に貢献しているか。	A	A	A
		地元の住民、高齢者、障害者等の雇用	地元農家の雇用に貢献しているか。	A	A	A
		地元での資材等の調達	地元で資材を調達しているか。	A	A	A
		地元での社会活動等への参加	地元からの要請があった場合に応じられるか。	A	A	A
		その他地元への貢献に関すること	地元開催のイベントに協力しているか。	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	提案項目が効率的に実施されているか。	-	-	-
	区分評価					A

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>収穫体験農地の作物の品質は概ね良好であった。 貸付農地、収穫体験農地とも早目の対策により有害鳥獣被害を最小に抑えた。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>・積極的に堆肥を導入し、土壌改善に努めた。 ・感謝祭で農園利用者より好評を得ることができ、若年層へのPRに繋げた。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>貸付農地利用者からのアンケート結果を参考に、不満層を削減する事を念頭に改善を行う。 貸付農地の利用率が低下傾向であることから、引き続き積極的なPRに努める。</p>

●所管課の意見

・収穫体験利用人数が前年度より向上していることを評価する。
・感謝祭(焼き芋の無料配布)の実施や、土壌改良のための堆肥の無料提供及び耕耘機の無料貸出しに継続的に取り組んでいることを評価する。
・イノシシやアライグマ等の有害獣被害についても継続的に防除対策を実施し、H27下半期においては有害鳥獣被害ゼロを達成したことを評価する。
・アンケート結果より、管理人の対応及び指導内容の満足度が高いこと、また、前年度より満足度が向上していることを評価する。
・貸付農地利用者の高齢化やライフスタイルの変化等に伴い利用率が低下しているが、若年層など新たな利用者に訴えるPR方法の工夫に努められたい。

●指定管理者評価委員会の意見

・土質の改善については、堆肥の無料配布等を通じ、引き続き努力していただきたい。
・体験区画については、利用率が高く好評であり、評価できる。
・貸付区画については、近年利用率の低下が見られる。その対応として、広報について、ターゲットの設定(高齢者・退職予定者、若年層等)やポスター、チラシ等の設置場所・方法を検討していただきたい。また、管理人による栽培指導が受けられること、堆肥の無料配布・農機具の貸し出しの実施、面積が広いことなど、施設の特徴を最大限PRできるよう工夫していただきたい。
・利用者へのアンケートは引き続き行い、要望把握に努めていただきたい。